



歴史遺産を活かしたまちづくり : 生野公民館の事業から

中島, 雄二

(Citation)

歴史文化をめぐる地域連携協議会予稿集, 15:10-16

(Issue Date)

2017-01-29

(Resource Type)

conference object

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81009729>



第15回歴史文化をめぐる地域連携協議会

「地域歴史文化をめぐる〈場〉 - つながりを生み出す環境づくり -」

歴史遺産を活かしたまちづくり — 生野公民館の事業から —

1

2017年1月29日

朝来市役所生野支所地域振興課

中島 雄二

○はじめに

(1) 生野銀山

- ・ 戦国時代から、織田・豊臣の財政基盤を支える
- ・ 江戸時代に生野銀山を管轄した陣屋が設置
- ・ 陣屋をとりまく銀山町には多くの史料がのこる
- ・ 郷土史の研究が盛ん（生野銀山史談会）

(2) 生野町の現状

- ・ 生野町内の研究者の高齢化と引継ぐ人の不足
- ・ 個人所有史料の管理の難しさ

2

1. 神戸大学との連携

(1) きっかけ

- ・平成16年（2004）地域連携センターとの共同研究
- ・古文書を活用したまちづくりを探るための共同研究

(2) 実際の動き

- ・初心者向けの古文書講座

⇩ （平成18年1月～3月）

平成18年4月 生野古文書教室

- ・石川家文書の整理作業

平成20年 約10,000点の資料が見つかる

平成21年 市民と共同の整理作業

平成22年～ 古文書整理



3

2. 石川家とは

(1) 石川家の人々

- ・播磨龍野が本貫地、18世紀後半に姫路から移住
- ・薬種商、宿屋、地主として成長
- ・掛屋、山師との縁戚関係を結ぶ

(2) 石川家にのこる歴史遺産

- ・古文書類

◆日記



◆村方文書

◆鉾山経営にかかるもの



- ・美術品

2代目長英（雀翁、安登里）・4代目魚連



長英（雀翁）筆

4

3. 石川家文書を活かした取り組み

(1) 神戸大学

- ・文書の整理作業（月2回）

(2) 公民館講座

- ・池田草庵にかかわる史料
- ・歴史講座、まち歩き教室、創作教室、古文書講座、料理教室

(3) 生野高校家庭科部との連携

- ・カステラの試作

平成28年度 生野公民館特別講座
生野歴史文化講座

石川家（池田家）文書には、池田草庵が長期滞在した際の「草庵庵」(石川家)が保存されています。当時の時代背景をいかに伝へるかを、生野における草庵の活動に思いを馳せてみましょう。

① 歴史講座
6月1日(水) 19:30～
・生野の歴史を学ぶ
・池田草庵の歴史を学ぶ
・池田草庵の歴史を学ぶ

② まち歩き教室
6月4日(土) 13:30～
・生野の歴史を学ぶ
・池田草庵の歴史を学ぶ
・池田草庵の歴史を学ぶ

③ 創作教室
6月1日(水) 13:30～
・池田草庵の歴史を学ぶ
・池田草庵の歴史を学ぶ
・池田草庵の歴史を学ぶ

④ 古文書講座
6月14日(水) 13:30～
・池田草庵の歴史を学ぶ
・池田草庵の歴史を学ぶ
・池田草庵の歴史を学ぶ

⑤ 料理教室
6月18日(日) 13:30～
・池田草庵の歴史を学ぶ
・池田草庵の歴史を学ぶ
・池田草庵の歴史を学ぶ

生野公民館 生野歴史文化講座 参加申込書

名前 参加希望者名

連絡先 生野公民館 042-948-4639 Fax 079-4639

5

4. 池田草庵

(1) 池田草庵（1813～1878）

- ・養父市八鹿町宿南生れ
- ・京都で儒学を学んだのち、郷里で私塾「青谿書院」を開く。

(2) 青谿書院

- ・門人は全国から約700人。
- ・門下生には北垣 国道（晋太郎）、原 六郎（進藤 俊三郎）



6

5. 公民館講座

(1) 歴史講座

- ・幕末の生野についての解説

(2) まち歩き教室

(3) 創作教室

- ・献立をかけたミニ屏風づくり

(4) 古文書講座

- ・献立をテキストにした講座

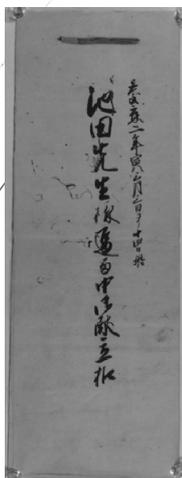
7



(5) 料理教室

- ・石川家にのこっている、池田草庵をもてなした献立を復元してみよう！！

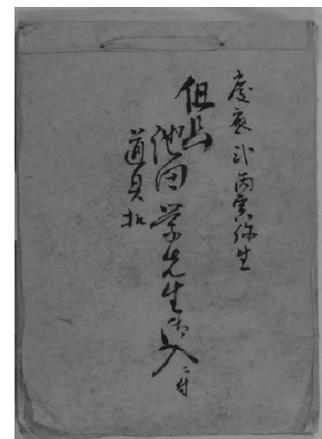
8



「池田先生様逗留中御献立扣」

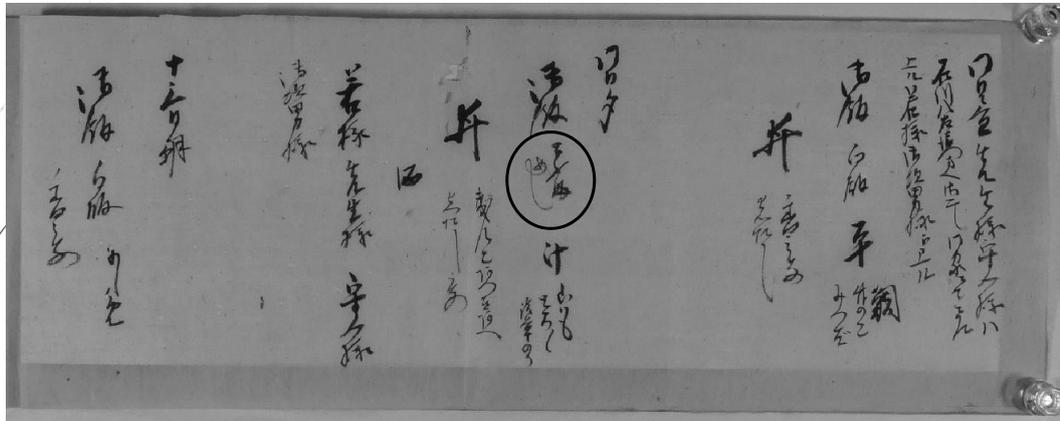
慶応2年（1866）3月3日～14日まで、生野代官所最後の代官、横田新之丞が池田草庵を生野に招いた際、接待役を石川家に命じた記録。

ほかに、用意した道具・什器の記録もある。



☆この献立のなかから、選んだのが3種類

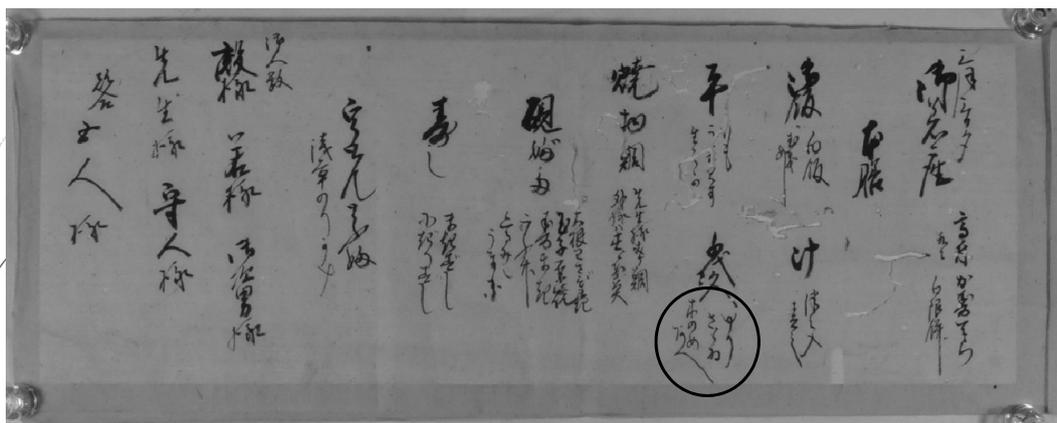
(1) とうふめし



3月12日夕食

9

(2) 木の芽あえ

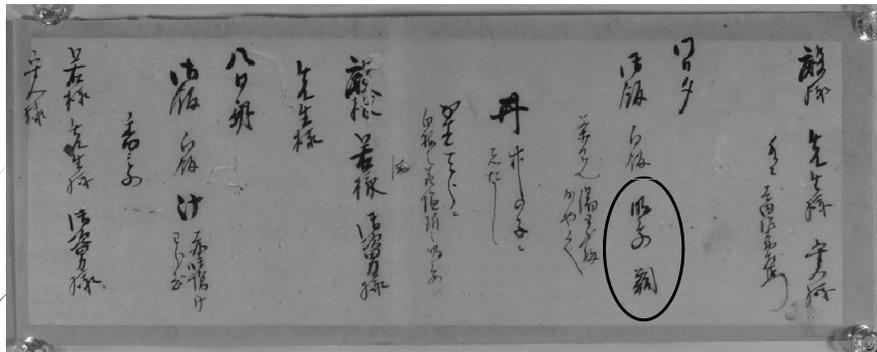


3月3日夕食

10

(3) 鯛の吸い物

3月7日夕食



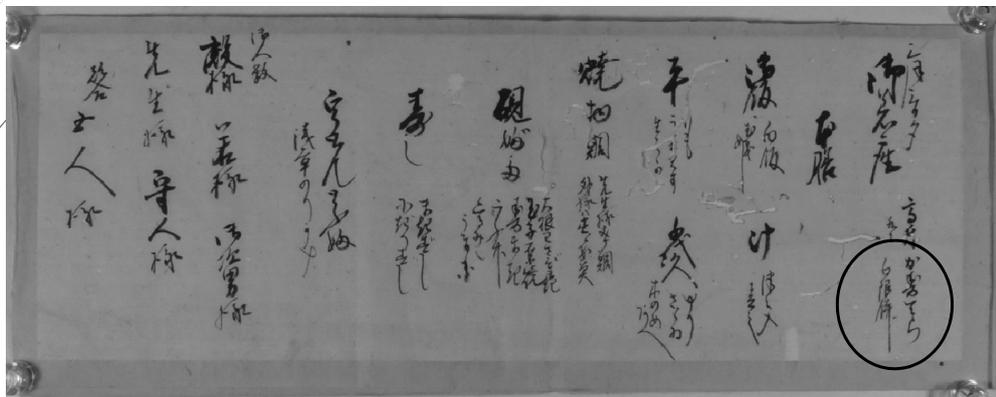
11



6. 生野高校との連携

(1) 「天領・生野 復活の架け橋プロジェクト」 (家庭科部)

・かすてらの製作



12

3月3日夕食

(2) 新たなレシピの開発

- ・石川家文書の献立のなかから、第2弾・第3弾を

13



○おわりに

- ・いろいろな講座を開催することで、地域にのこる歴史遺産の重要性を再認識できた。
- ・地域にのこる古文書の整理作業を、継続して地域の人のお手でおこなう。
- ・石川家文書を1つのツールとして、まち起こしに活かしていく。
- ・若年層に関心を持たせることができた。引き続き、学校との連携を図る。

14